

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成25年5月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

（「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数）

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は5から2に減少。「減少した」業種は5から10に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から8に減少。「減少した」業種は16から11に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から4に減少。「悪化した」業種は12から11に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4のまま変化なし。「減少した」業種は5のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から10に増加。「減少した」業種は12から9に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は9から7に減少。「悪化した」業種は10から14に増加。

製造業

漬物製造

【県内全域】

昨年に続き更なる原材料値上げ要請があった。上部組織である全豆連と近畿豆腐販売協議会の合併が決まり新たな動きに期待したい。

酒類製造

【県内全域】

企業間で好転悪化のばらつきあり。燃料、資材、米価格等コストアップを価格に吸収できない。

牛乳小売

【県内全域】

景況の変化は不変。

製材

【木更津】

ロシア材船（2隻、南洋材船（1隻）の入港であるが、前年に対して各1隻の増加であった。

印刷

【県内全域】

5月の受注売上は、4月と比較して悪化し、これで二ヶ月連続の悪化となった。好転感が一番最後に届くと言われる印刷業界にはまだ実感が無い。

電気鍍金

【県内全域】

各種の報道を見ると、大手企業では設備投資等の動きはあるようだが、中小企業では未だアベノミクスの恩恵はない。

鉄工

【千葉】

先行き全体景気に明るい兆しが伺われ、好転に対する期待感が膨

らんでいるが、足元の動向は組合員各社厳しい状況下での推移が続いている。

機械部品製造

【野田】

円安、株高の恩恵が届いていない。一日も早い安定回復を願うものである。資材値上げ分、すぐ転嫁できるかが心配である。

機械部品製造

【流山】

先月と大きく変化はないが売上は減少傾向になっている業種もある。

機械部品製造

【柏】

足元は依然低調。仕事が増える企業となくなる企業の二極化の進展あり。

金属製品製造

【船橋】

期末の3月に一時的に上向いたが4月5月と停滞気味。業界動向は仕事量が上向きになってきた。

採石

【県内全域】

前月同様、港湾関係事業については6月後半以降の発注が見込まれ、当分は低空状態。

土砂採取

【県内全域】

新年度事業が執行されていないことから、4月以降、出荷が減少傾向にあるとの報告や5月は日数も少なかったことから出荷は落ちたが、日ごとの出荷は前月と変わ

らなかつたとの報告があつた。全体的には、前月比では概ね変わらないが、前年同月比ではやや販売価格の上昇や収益状況の好転、景気が好転してきたところがある。反面、一部では売上高の減少、設備稼働度の低下、景況の悪化の報告がある。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【日用雑貨】 例年に比べ、梅雨入りが早いこと、夏の訪れも早く高温になるとの予想から、除湿剤、洗剤、虫よけ剤等の季節商品の出荷が増えている。

【紙類卸】 急激な円安でメーカーが生産調整。在庫量減少。今後店頭価格引き上げの動き。

【建築材料卸売】 【県内全域】

マインドだけでなく、実需に変化は感じられない。東北だけでなく、全国的に回復気運があるが、千葉県だけは取り残されている気配。県内でも中央・西部地区のみ出荷旺盛だが、その他の地区は横ばい維持がせいぜい良いところ。一部の戸建ては好調だが、全体的に前年と同程度にすぎない。

生コンは一部で逼迫し値上げも浸透しつつあるが、セメントの値

上げは道半ば。東北需要のため、セメント生産及び在庫は品薄。一部で品切れ懸念あり。値上げ交渉は様子見が続いている。

【自動車解体】 【県内全域】

円安傾向による部品の輸出については好転しているが、スクラップ価格に不安感あり。中国経済の減速の影響か？

【乾物卸売】 【県内全域】

小売に少し明るい兆しが見え始めた。

【小売】 【茂原】

圏央道が4月に開通したが、商売には影響はあまり出ていない。

【小売】 【柏】

景況の変化は、若干の上向き。

【電気機器小売】 【県内全域】

アベノミクスの影響で、株高、円安が進み、家電メーカーは軒並み収益の改善が見られる。2年で1兆5千億の赤字を出したP社でも、来年には黒字が見込めるとメーカーは言っている。ただ、我々組合員は販売に苦慮している。

【青果小売】 【千葉】

相場が下落して販売価格が低下した分、利益率は上がったが金額が大変難しい状況となった。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

GW期間全体の印象は良いような悪いような曖昧な実態で、悪い一辺倒でなかったことをポジティブに捉えるべき状況。輸出は相変わらず良い状況で推移。

【小売】 【東金】

全般的に購買力が上がってこない。このままだと7月以降が心配。ファッション関連品は相変わらず厳しい状況。食品関係は落ち着いてきている。日用品関連は低調。

【小売】 【野田】

GW期間中は、セールやイベント開催で好調に推移したが、後半は売上・集客ともに落ち込みが目立った。

【青果小売】 【県内全域】

前年度と比較すると売上減少。特に個人青果店では、客数の減少が著しい。業界動向は、後継者がいないため、高齢になると廃業する傾向にある。

【小売・サービス】 【柏】

全体では、GW明け後、例年通り売上が下がる事業者と変わらない事業者が大別されるが5月になっても変わらない所が増えている。

【建設揚重】 【県内全域】

石油プラントの定修で一部の地

区は回復傾向。全般的にはまあまああつた。

【遊覧船】 【鴨川】

客足は戻りつつあるが、震災以前に比べるとまだまだという感じ。

【一般廃棄物処理】 【千葉】

千葉市のごみ減量・再資源化の普及啓発推進により、事業系のごみは平成18年度に比べると3割程度、家庭系のごみは2割程度減った。事業系についてはそろそろ限界が来ているのでは？と思う。5月は例年通り、状況はあまり良くない結果となった。

【ソフトウエア】 【県内全域】

多少好転していると感じられる。

【建設】 【県内全域】

当連合会加入組合員の受注は9,750百万であった。これは前月比で5,781百万と大幅な増加となった。千葉、北総、海匝、君津、山武、千葉で増加した。前年比でも3,076百万の増加。

【貨物運送】 【野田】

荷主さんも円安で原材料が上がつているせいか、最近になって運賃値下げ要求をされた。

【輸出入】 【県内全域】

前月比、前年同月比とも売上は良くなる傾向。